

## 平成 28 年度「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」第 1 回連絡会 報告

日 時：平成 28 年 7 月 14 日(木) 14:00～16:30

場 所：環境省中部地方環境事務所 第 1 会議室

出席者：19 名 ※別紙参照

### 議 事

1. 開会挨拶
2. 自己紹介
3. 今日の目的の説明
4. 採択団体の事業紹介及び意見交換
5. 全体協議

議題：3 年間の目標を達成するための、今年度の目標設定と到達のための方策、課題と計画及び支援について

6. 今後のスケジュール等

### 主な意見交換及び協議内容、アドバイス

#### 【伊勢竹鶏物語～3R プロジェクト～Part2】

- 通常の企業ベースのビジネスでは採算が合わないだろう。このビジネスモデルは供給側がどれくらいのコストで供給できるのかがポイントになる。竹林の所有者へのコスト、竹粉を切り出すコスト、竹粉に加工するコスト、それらの調整業務のコストも見込んでいくと、採算はなかなか難しい事業である。
- 事業のネーミングがよい。特徴を出している。作り上げたネーミングであり素晴らしい。本日の発表では需要と供給のバランスの問題、企業が関わらない理由等、目に見えない価値や「誇り」の説明が明確であった。
- 明確な筋とうまく経済では回らない部分について、協働で実施するからこそ回る可能性があると、明確に言っていたらと素晴らしい。その点がまだ合意されていないならば、第一に合意していただきたい。
- 目に見えない価値がどのくらいになったら回るのかという価格を決めようとする、そういった経済的に回していくアウトプットを出してほしい。
- アウトカムとアウトプットの話ですれば、竹粉が、何トン使われたというのがアウトプットである。その結果、目指す活動等にこれだけの効果があったというのがアウトカムである。
- このプロジェクトの中のどこに竹粉の供給者がいて、使用者がいて、その中にどういう課題があってどうしていくかを絵にすると分かりやすい。全体像が読み取れない。説明の内容を絵にすると分かりやすい。

#### 【筑北村東条地区における里山交流促進計画】

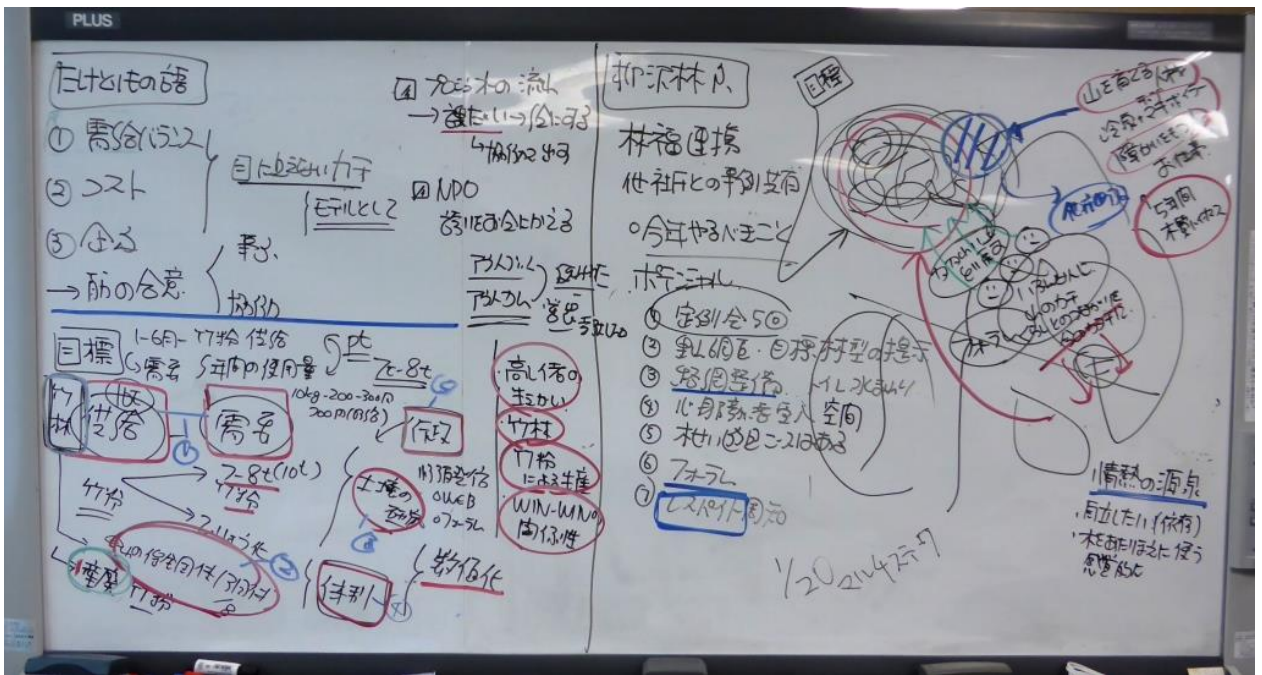
- 事業を成功させるためには、ステークホルダーそれぞれに役割と負担、メリットをきちんと説明できる、説得力のあるプログラムにする必要がある。
- 林福連携の新しい視点に期待している。
- 構想もビジョンも素晴らしい。しかし、選択と集中が必要である。構想もビジョンも素晴らしい。今年の事業でどこまでできるのか、もっと絞りこまないと拡散してしまう。長期的には、日本の林福連携のモデルになるような可能性、ポテンシャル

ルがすごく高い。だからこそ、この第一歩を無理しないで踏み出してほしい。

- レスパイト事業が核になるのであれば、それに対してこのようにやるという整理ができるといい。示されている事業のうち、定例会は除いて、それぞれの事業がどういう位置付けか、全体像のどういうポジションなのかを示していただくと分かりやすい。
- 一つ一つの位置付けと意義を示していただくと分かりやすい。そして、その結果のアウトプット、アウトカムが何かが分かりやすくなる。
- 今年度の事業については、ランドデザインを描いて、デザインの中での各事業の位置を示してもらえると分かりやすい。
- ステークホルダーがどこに関わるという、その人達の位置付け、役割、自分たちにどんなメリットがあるか、気持ちだけでもいい、そのように整理されると分かりやすい。

**【全体】**

- これまで協働取組をしてきた団体を見てきた経験上で、一緒に何かをやると人は非常に変わる。突然考え方が変わったり、面白いことが起こる。オープンな状態で、一緒に何かできるんだという信頼をもって続けていくと、参加される方自身が変わる可能性がある。是非、いろんな変化を起こす場をつくってほしい、楽しんでほしい。
- いろいろな考えの方がいろいろな人を拒まないで、やっていけばいい。



■平成 28 年度「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」第 1 回連絡会 出席者名簿

(敬称略/順不同)

	氏名	所属	備考
1	新田 義孝	(一社) 四日市大学エネルギー環境教育研究会 会長 (理事長)	伊勢竹鶏物語
2	矢口 芳枝	(一社) 四日市大学エネルギー環境教育研究会 副会長兼事務局長	伊勢竹鶏物語
3	伊藤 嘉洋	三重県四日市農林事務所 四日市鈴鹿地域農業改良普及センター 普及 2 課 主幹	伊勢竹鶏物語
4	戸田 和男	(一社) 四日市大学エネルギー環境教育研究会 理事	伊勢竹鶏物語
5	寺本 佐利	(一社) 四日市大学エネルギー環境教育研究会 北勢地区里山連絡協議会 (担当)	伊勢竹鶏物語
6	古川 勝敏	(一社) 四日市大学エネルギー環境教育研究会 竹粉供給および稲づくり (担当)	伊勢竹鶏物語
7	原 薫	株式会社柳沢林業 代表取締役	里山交流促進計画
8	岩間 敏彦	NPO 里山保全再生ネットワーク	里山交流促進計画
9	和栗 剛	筑北村社会福祉協議会 (ちくほっくる) 施設長	里山交流促進計画
10	島岡未来子	早稲田大学 研究戦略センター 准教授	協働取組審査委員 委員長
11	竹内 恒夫	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	協働取組審査委員
12	戸成 司朗	住友理工株式会社 CSR・社会貢献室長	協働取組審査委員
13	松井 純	株式会社三重ティールオー 取締役事業推進部長	協働取組審査委員
14	永井 均	環境省中部地方環境事務所環境対策課 課長	
15	曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所環境対策課 課長補佐	
16	村辻 裕樹	環境省中部地方環境事務所環境対策課 主査	
17	新海 洋子	環境省中部環境パートナーシップオフィス チーフプロデューサー	地方支援事務局
18	藤森 幹人	環境省中部環境パートナーシップオフィス	地方支援事務局
19	高村 美也子	環境省中部環境パートナーシップオフィス	地方支援事務局